



2025年11月27日

各 位

会社名 東 海 運 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 松井伸介
(コード番号: 9380 東証スタンダード市場)
問合せ先 コーポレート統括部長 久我親雅
(TEL. 03-6221-2201)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、具体的な取組みを検討するにあたり、資本コスト及び資本収益性に関する現状評価を行い、改善に向けた活動方針、将来に向けた目指すべき方向性について、2025年11月27日開催の取締役会にて下記のとおり決議しましたのでお知らせ致します。

記

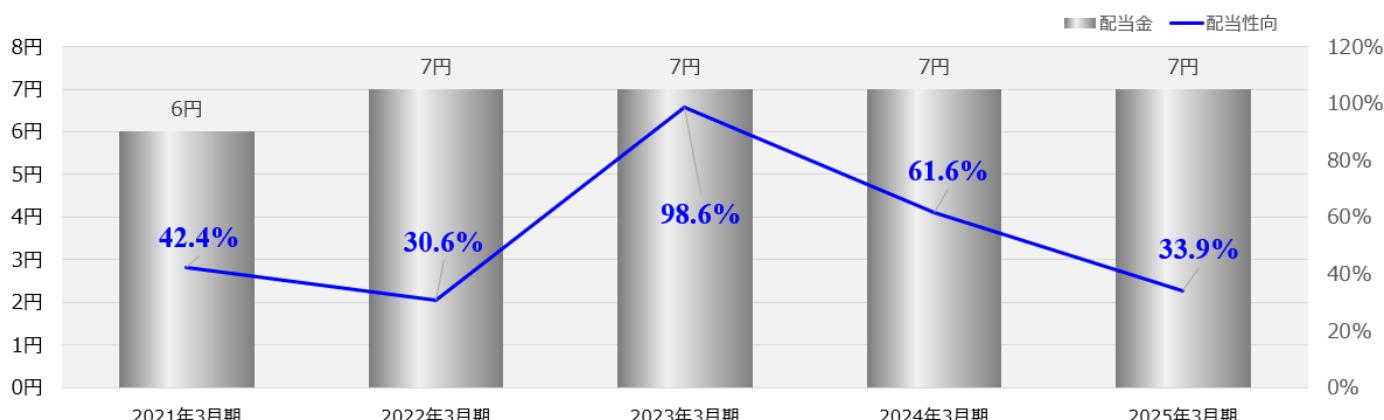
1. 現状分析及び主な経営指標の推移

当社は2024年度から2026年度までの3ヵ年を対象とする中期経営計画を策定し、将来のありたい姿に向けて、利益向上を目的とした基本戦略を展開し、企業価値向上を目指して取り組みを進めてまいりました。

一方、当社のPBR（株価純資産倍率）は、1倍を下回り、ROE（自己資本利益率）も低水準で推移しております。これらの理由については、事業の成長性、収益性及び資本収益性の低下が改善されていないことが要因であると分析しております。

【直近5ヵ年の主な連結経営指標と配当性向】

項目	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
営業収益 (百万円)	39,001	39,613	41,467	39,746	39,399
営業利益 (百万円)	700	684	666	288	688
営業利益率	1.80%	1.73%	1.61%	0.73%	1.75%
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	393	635	197	317	578
自己資本利益率 (ROE)	2.59%	4.03%	1.22%	1.92%	3.37%
株価収益率 (PER)	24.9倍	13.0倍	40.4倍	26.3倍	15.9倍
株価純資産倍率 (PBR)	0.64倍	0.51倍	0.49倍	0.50倍	0.53倍



当社の配当方針は、1株当たり年額7円を下限とし、業績、事業環境を勘案したうえで、配当性向30%以上を目安に実施いたします。

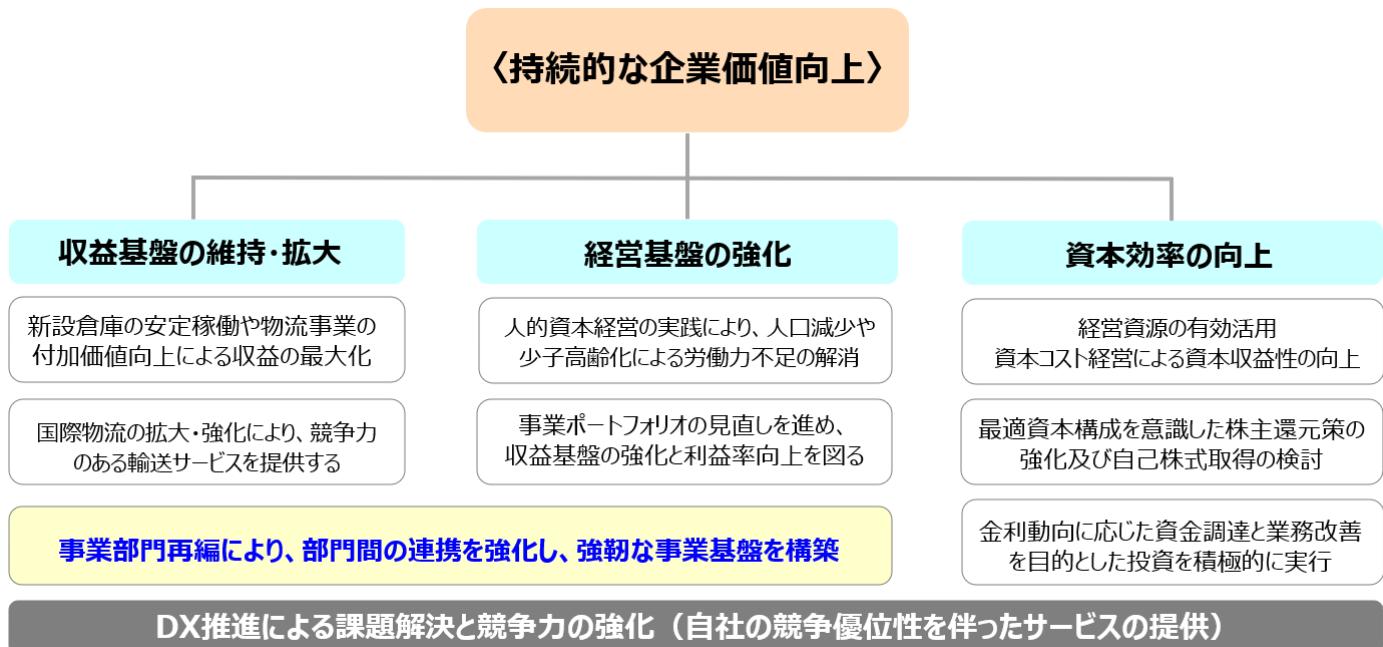
2. 改善に向けた活動方針及び短期的な目標値の設定について

現状分析を踏まえ、持続的な企業価値の向上を図るため、以下に掲げるテーマを意識した事業活動を推進し、収益性および資本効率性の改善状況について検証してまいります。

(1) 持続的に企業価値を向上させるための三つのテーマについて

- ① 収益基盤の維持・拡大
- ② 経営基盤の強化
- ③ 資本効率の向上

(2) 「持続的に企業価値を向上させるための取り組み」について



(3) 中期経営計画で設定した目標値について

	2026年3月期	2027年3月期
営業収益（百万円）	42,299	44,122
営業利益（百万円）	773	1,182
営業利益率（%）	1.8%	2.7%
自己資本利益率（ROE）	3.0%以上	4.2%以上

想定されるリスク

- ・少子高齢化による労働力不足
- ・建材需要の低迷
- ・為替・金利変動やエネルギー価格の上昇等

中期経営計画で設定した目標については、想定されるリスクの一部が顕在化しております。

当社は、設定した目標の達成に向け、提供するサービスのコスト上昇に対する価格転嫁をはじめ、持続的な企業価値の向上を目的とした各種施策を着実に推進してまいります。

なお、2027年3月期以降の中長期的な計画値につきましては現在検討を進めており、決定次第、速やかに通知いたします。

以上